孫伊藤篤齋ノ贈物

伊藤氏藏書

錦窠魚譜

ナヽホシ イナ、ナヨシ、ボラ、

繪魚譜 十二

別 11
11
(28)

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11
ガラス使用

宮内省圖書寮

仙魚譜

オボコ
ナヨシ

ボイナ
ボラ
シクチボラ

永世保存
錦窠物産庫
禁出門外

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11
ガラス使用

永世保存
錦窠物産庫
禁出門外

ボラ　十ヨシ

○鯔ナヨシ　ボラ　子魚　黑色曰鯔此魚黑故名鯔　肉甘平無毒
山家　夕ネツクルツホ井ノ水ノ行末ニ江鮒集ル落合ノカタメ　西　行

按鯔日本紀曰赤女魚又云口女産冬出見尊失ニ兄鉤一後至海神宮探赤女口而得之赤女者鯔也故以鯔所以不備供御者此縁也

三四寸杜河中名伊奈五六寸者有江中幾内名江鮒関東称簀走俗用鮠字三戈所謂撥尾魚是也能跳如飛連行成陣俱似鯉性喜食泥亦鮠甘美八九月稍長大六七寸杜江海之交此時也无泥味脂多而愈甘美也色亦黑減如暴洗故小暴江鮒称ス冬春至尺余者名世羅俗用鰭字以麦鯉称伊勢鯉其肚腹肥大故称腹太勢州人称名吉用奈与志之音儀矣時珍所説者是也　其大小俱腹中有肉塊如白形炙食甘微苦　唐墨　三四月鯔子連胞乾之形以墨为大褐色味甘美然勢州土州之鯔有子余国之産有子者稀

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11
ガラス使用

也偶取得為珍故多以馬鮫奥子偽之　長久知鯔形色及
腹中之白皆因鯔以眼黄為異其大者㊀三四尺関東多女
奈太是乃鯔之婦塊矣可習京目者乎

いせごい　ナヨシ、ナユシ、ナイシ、
クチメ、シクチ、キス

和玉　鯔

一　江鮒　是ハ十二三ヲ　澤名　鯔魚ト云
ナリ一名蛇頭魚ト云ヲ　ト云
魚の悪名ハ雷吟ハ　江鮒あり
のみ　ら二尺　いろのハ百雷
拾参ハ　江鮒ハ

動植名彙巻八

猫志ナ国英産日本地誌提要二
奥郡地手孔十一相

尾ミテハ　オボコ　左ニテ小
スバシリ　或ハイナ　スバシリモ日ハ小イナノ
ナガイ云　次ナリ
二サイ　二年ノ子ナリ　十ヨリ
○尾ミテハアカメノコリテンボ又テンボ云
○アカメ　尾ミテアカメ云　鱗ヲ　目ハ小ク
鱗ヲ　黄ヲ又
○一名　二メリト云ヲ　ナヨシ
ハアカメハ　ハ身ハ　ナヨシ
ナヲ工ヒ　ナアガノ

○ムラサキヨシノ大ナル時ハ子ヲ孕ム

イサハ オイケ 旨シ ニワイカ

イサ 月夜ニハ ハヒ ハヒ

又ハ海ニ多シ

鰡魚 有河海二種

小者名奈与之 微大者名 奈亦為寸 波志利至

大者名保良 常陸国誌曰 鰡魚倭訓奈与之 紀貫

之土佐日記曰奈也之国訓波良布止亦名伊勢

鯉 東海出

常産物産志十六

鰡魚

有二種出常熟海道者比湖産為大 蘇州物産志 土

ボラ

松前同宗源廣長著 松前志

即鰡ナリ福山近海ニ出ツ大ナルモノ二尺ニ至ル或云是即奈與之ナリ

ト未詳東北部ウラヤスヘツ潟中鰡多ト聞ケリ

鰡魚一名地頭魚亞紫鼓湯信河出圍尺五白肪満腹併腸煮之

美同鯉魚但無叉刺為異耳香魚鰡屬眼嘴火赤其二尺強者美

勝鰡魚食方同

黄穡魚 鰡魚 香魚 鯛魚 鱮魚

黄穡魚肉輕故貴隔紙薄塩湯炙鼓藏皆好不塩者将筝皮護

煮才得不碎駿河府出腊魚炙湯並好其嗟大而鱗色雪白曰白皮

魚食方略同鼓麹糟藏皆好

ヤヨシ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

本ボラト云魚ハ川ニアル片ノ名ニ川口ヘ生ル
海ハシリリ形ニテ海ニ又ラハイナリ称又
又生ル所ニテハナイシロト称ス秋末ニ至リテ
おうゝ称ニ化ル是ハ海中ニ出ル歟

ボラ

本名鯔魚又子魚俗呼柳根鱗或云是
烏魚

瓊浦偶筆乾

皇傷魚傷

青魚（メナダ）ニハ鯔多シ

鯔魚（ナヨシ）ニハ稀ナリ

鯔 他書国會見郡渡村 日本地誌提要五

亦與之名物抵京師記 クチメ

鱠

周而肥至秋始出

ナヨシ

藪州物産志 十二

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

○ボラ　鯔魚本州所習親身
圓頭者蓋此
此宗俗名草魚又呉地呼為海
魚即此化擬其行習草魚寔
是鄉人畜之池内飼以草
故名之

ボラ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

問　季寄の中に江鮒（エブナ）と云ものあるは何の魚か

答　それハ鮒ハ漢名ハ鱦魚（レギョ）と云その別名蛇（ダ）

頭魚と云（餘姚縣志）鱦魚とハ想名ハ漢名も和名も

大小ハ別に数名あり牧拳亭いとあるとあるよし

とあるハ此魚の想名なり日本紀ハ口女と云是之其初生

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11
ガラス使用

一寸ばかりあるを江戸にてをがこと云かまぼこにてちくぜんと
云佐州にていきなごと云七列にて是を塩辛にして銀びしこ
と唱（同名異魚）江戸にて四五寸あるものを云ふ前出
八二寸あるものを云鰶列業名にて六寸許あるを云横
列にて四寸以上を云相伴ふ江戸にては六月十五日より
洲走（スバシリ）と唱十四日迄をいなと云ふと云ふ列にてはしをと
云漁人簀（スビキ）に細を張りて是をとる簀引（スビキ）と云ふ西
方細くして少し異あり因て簀走（スバシリ）と名あり漢名梭尾魚と云
九月より冬に泥味あり脂多くして味美

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11
ガラス使用

又さゝし洗ひたるゝ物とて此時を幾内ゆてこざゝしと
呼び江州と称す泉州堺の名産とて称きて江州ハ
幾内の方言ゝ魚ハ洲走の事と名称し江州物拓
と勾作りて鄭奥のるとゝ名ふべうゝと又名ゝ伊
勢鯉岩州ゝてめうぎちゝと云大小よりつゝ十名と
呉ゆゝて出世奥と称して五寸余名あゝ丹後田辺ゆて
とゝゝゝと云ハ五六尺あゝを物絵洗ゆて生長ゝるの
を海ゆゝと云本草ゆ李時珍の説ハ海産のものゝ伊勢
鯉と云ハ勢州志州の海濱ゆて多く取又鯉ゝ類する

三ノ二

とすゝゝ云ゆり関西の称ゆ東西ゆてハ物ゝとのゝ呼ゝ
長崎ゝてハまくちと云上古くちめと云ハ詞の遺りたる
ゆめうぎちと名吉の音を用ひたるゝ土佐日記ゆこゝの
門のゆゝしのゆゝらひいうぎゝと有も昔ハゆゝしのゆゝ
らと節ゆゆ用ひたるゝ也もゆゝと物従言ゆり
とゝゝゝこゝの門ハ小家の門と物ゝゝ按裏抄ゝ
宇多帝の御代ゝ綱のゆゝらと用ゆゝゝゝれも
夢之(ユメ)万さゝゝ宇多延喜の朝ゝ仕ゝゝゝなゝとゝゆき
ゝゝハゆゝゝゝゝゝゝと事ゝ前も書ゝ此説ゝて

江鮒あるよりの物ら二品ありて夏季は
鮒ハ秋季ゝ鯔とぞと訓とする
萩のうら浪速江鮒を伊勢乃鯉　宗因
此句ハ知へし同物異名なるものゝ又九州にて
江鮒と称するものハめあぐと云魚の小なるものを
云歟因て云江鮒ゝ違へされどめあぐすぐれを
もじと云三種の魚一類少異種なるものゝ形状
相似ゝ少しての遠ひあるいつれも俗ハ勝と云
ものあるなり

三ノ三

ボウ　出雲国
鮒　鵜峠浦　日本地誌提要五

ボウ　小笠
鮒　原島　日本地誌提要二

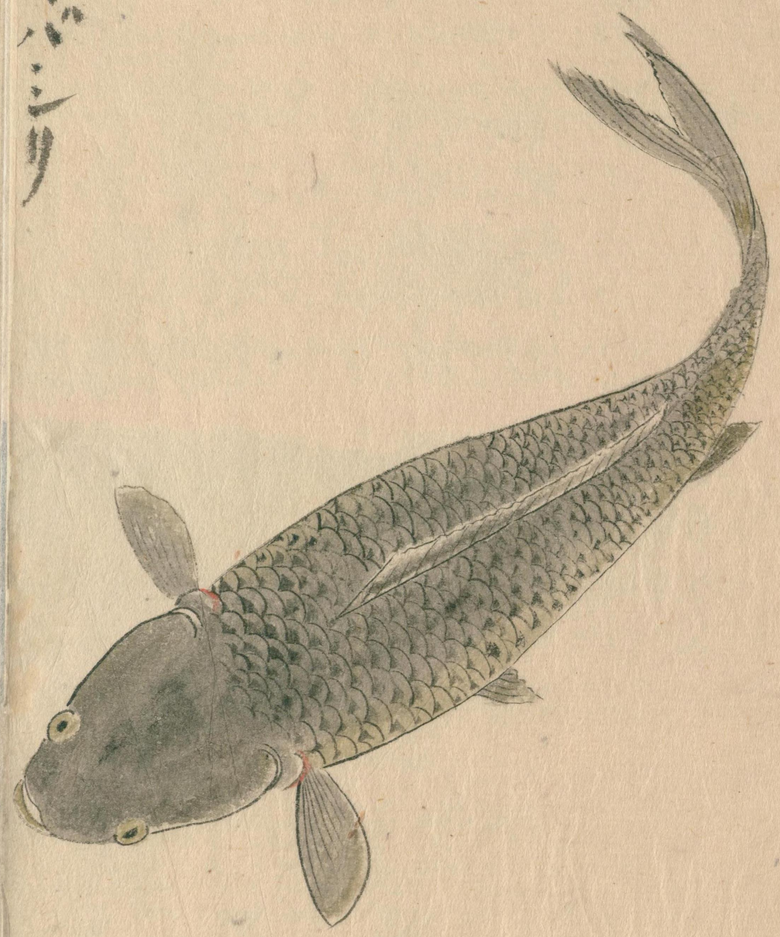
ボウ　本名鯔魚又子魚俗呼柳根鰭或云
是烏魚

ボウ

本名狗母魚

瓊浦偶筆

スバシリ



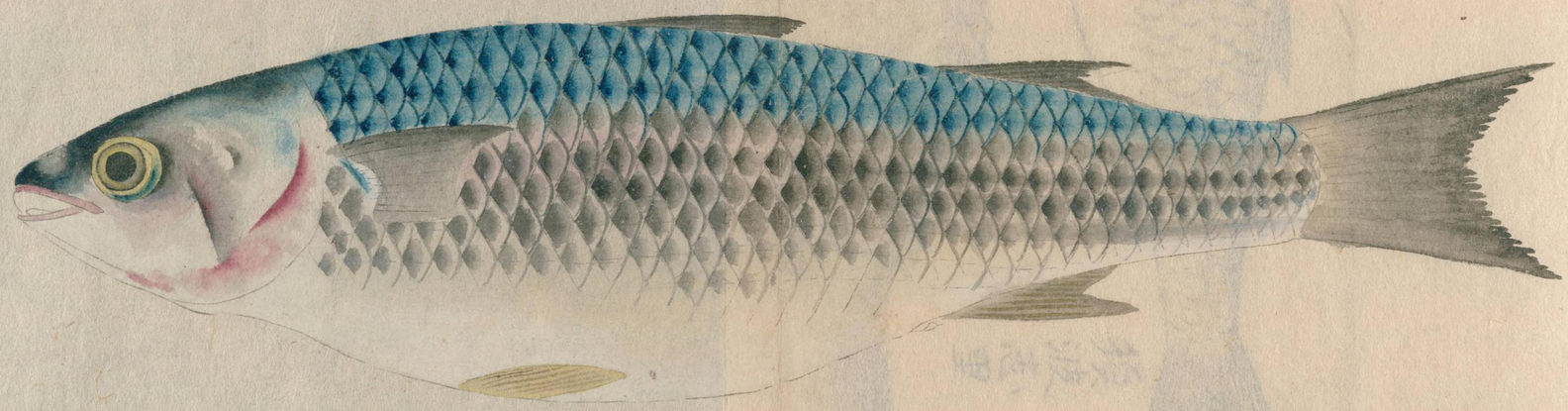
スバシリ エブナ 撥尾魚即鮠魚初年ノモノナリ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用

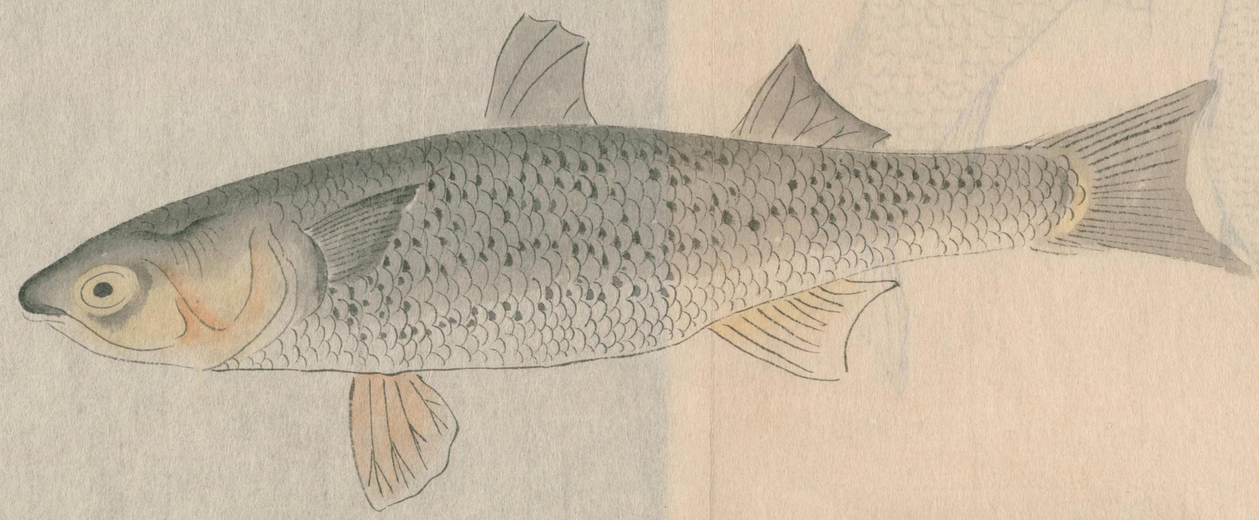
国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11
ガラス使用

鮒魚
イナ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

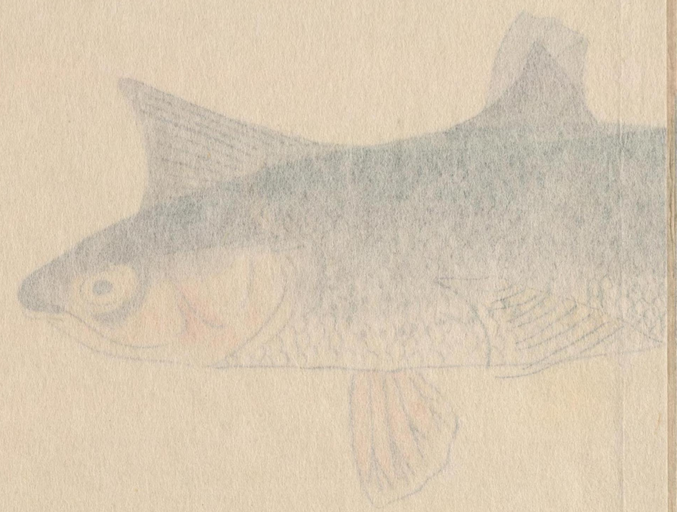
ガラス使用

鮒魚
イナ



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11
ガラス使用

鮗ミギョ
スミリ
文政七甲申年
四月五日寫之
大サ如圖



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11
ガラス使用

すはしり

スバシリ

撮壌集 鶏 鮴スハシリ

林蔀 鮠スハシリ

動植名彙巻ノ八

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

○復老 鰌魚本草所謂鯉身圓頭者蓋此 此宗 俗名草魚
又呉地呼為渾魚即此但據其何謂草名蓋是鄉人畜之
池内飼以草故名之 清商周壬祿魚說

ぶら 鰌魚とゝゝゝ洞の義歟ゝゝ水面ゝ箔をゝゝゝゝて
面とすてゝ名とするゝゝ神代紀ゝ不得呑餌とゝゝる
此義歟ゝゝ異魚図賛ゝ是を跳魚と名け不以網
收とゝゝ鯱字をゝむゝ誤ゝゝ江戸ゝてゝ腰太とゝゝゝ
購ゝゝすゝゝゝゝ

鳥魚ぶり

昔ハ者鯖ニ子ざい
成女と者ノ鯖ニ是九月迄ハ鯖不ル
アリハ漁者者ニイヘハ
ボウ

ぼう

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

年と隨年と

鰯魚のいとちいさくきを白うねの色よひろくそのあり

是をはゝどいふそのそのゝ源をおわこ六七月のわと

よう才ハ〳〵果年こゝんてこるをなゝ〳〵年つゝこるハ

わ〳〵といふゝうゝはうなき尚こる大きゝなるをゝ

うひて名もうゝをもるよ歳年こゝろて書生とのゝな

（がう）のゝゝをめつ〳〵ゝんなゝ〳〵表なれ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

鰌魚（和名ボラ）九月ヨリ十月ニ至ル　官報六百七十六号。　明治十三年八月廿三日

鮴魚（イナ志ナ周答志郡鳥羽浦外二村　景地誌提要ニ）

魚盤

○イナ　鮴ナヨシ　前芝　その名

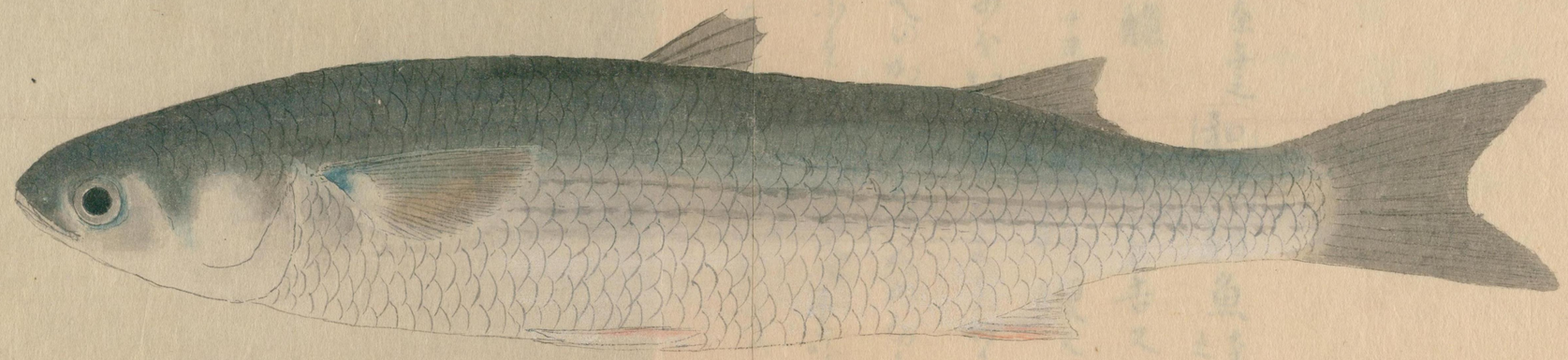
和名抄に以為列幾内ニそしちめ伊勢ハ
めぶちと以漢名鮴魚本国なおい郎
名古の宮言より古も名のおきに国まる
紀伊之の花ふうどの志りしめるえのおが
乃ひらいぶくさとい以つるもさの魚といふ
いつろうさう赤鯽とるるいぶりい
田を作る用のようそしかれの地も行くまく
ようのひ乃ひ乃ひけれい代国ひーあいふう

初生をおぼこといふ微〻〻育あるを
名付ふとふ周書南產志及南寧府志
に擬ふとふ二歳のことをいなといひ
三年を経ばーりとふ周嘉魚と鮒魚と
名付〻四歳迄をぼらとふ即鯔魚なり
十歳以上を烏とふとふ
なり腹中に子あることをゆ黑嘴
魚とふあるひは稲の莖くされてあるとふたるを
稻魚の義なるべし古に魚の字をなとふ川にあり

水谷豐文先生見寄本

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

ない

本和下廿五 鰡 奈子之 和傳 鰡魚 奈子之 和 新韻 鰡

ナイシヌキ ツフ同字 字 鱢 運 名吉又伊せ鯉 名 鮯 ナエシ

詩古訓 魴魚 ナヨシ 和玉 魴又鯁又鰡又魴又鰡

土佐日記 元日あかしとまりをりをとあたのをとめる

ひやらをとのくのかとのもくもめみをるをのの叫ら

ひくらぎくらいふをををいひけへを季吟り注ヨ道 花形ハ名吉

いせごひとゝ魚ゆくとをし 神代巻 廿六 口女 口女即鰡魚也

動植名彙 巻ノ八

鱠 ナヨシ

土佐日記に一のかとのしるしへなるのなかれのらひ木
らいうそとていひあへるを聞きめて式鱠のすゝ
きをあるへきとあ多くの谷あること細注に載る所地の方
言ミヤヅギチ名吉とるやいとれ則ナヨシの別名とおんへしおざこのそらち
ゝと物忘とゝ鱠キ跳るの義なるべし

宇津治氏の義也
白石遺書ヲ抄ス

鯨魚 ゆ少

鱠ナヨシ 土佐 シクチ 上同 志摩 名寄 肥前 長崎同名

奈行

なよし ナエシ、ナイシ、シクチ、キバスクシメ、イセコイ

志くち シクチ ナヨシ

堀川二郎百首 老人俊成 志くちひくあこのそまやふ手ふりて

ゆうきよ 博い 志あらくれよ 年を

ナヨシ シクチ

動植名彙 巻八

動植名彙 巻八

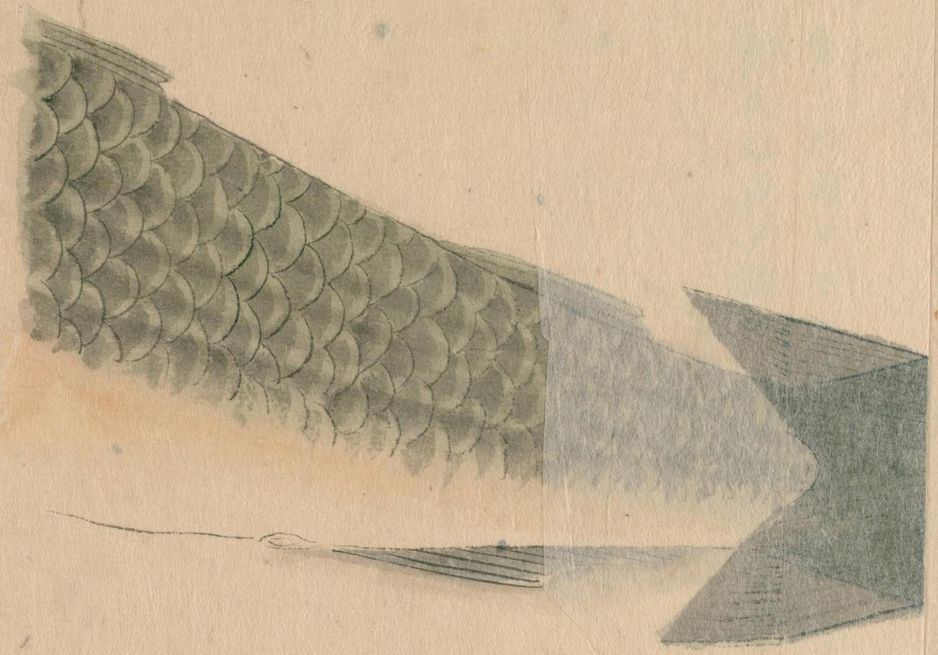
国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11
ガラス使用

ボラ

河鯔　ボラハ漢名鯔魚ト海河通メ云河海ニ形ハ同ジ
肉色ト味ト異シ河ボラヲ上品トス

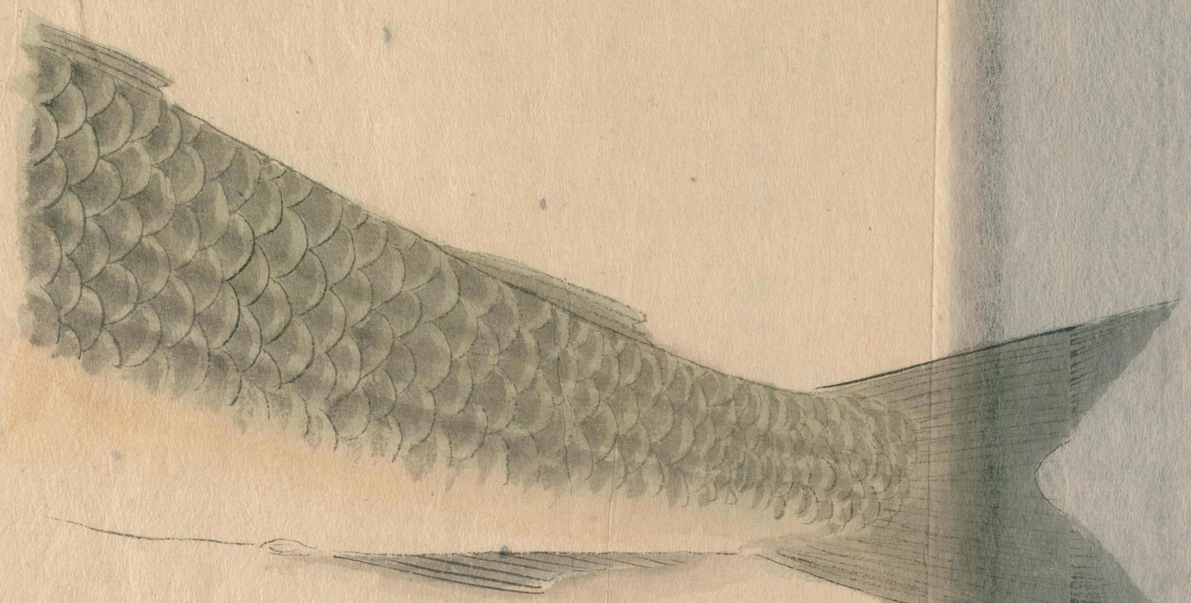
国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用

永世保存
錦窠物産庫
禁出門外

アカメ

赤目烏

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11
ガラス使用

スグチボラ

くちめ　ナヨシ　ナエシ　シノチ　キギフ　イセコシ

神代下巻　口女　口女郎　鯔魚也　同廿七

動植名彙巻八

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

マウチ　本名烏魚 出于臺灣府志 又福建通志　釈名俗語未詳

又本名鰡魚 釈名子魚 出本綱 又盛京通志 俗

語柳枝鱗

享保復言全

烏魚

鰡魚 出海中者閩人謂之烏魚有逆烏回頭烏之分冬至前者為正烏冬至後者為回頭烏正烏肉厚而脂多回頭烏肉瘦而腥臺臺灣有烏魚稅每年十月中漁人必請官給烏魚旗挿桅間方許出海在內地海港所挿者極長不過四五尺若外海則三四丈者亦未為異也然肉味則大者老而不鬆小者嫩而不韌矣

閩雜記　十三

きびふ　ナヨシ　ナエシ　ナイシ　ノチメ　シクチ　イセコビ

古本斷節用　鰡　キビフ　ナヨシ

林節　鯛キビフ

動植名彙巻八

鰯魚　ク千メ古名名吉又名吉ノ音ニテミヤウキチ氏云大サ三寸斗ノ時ヲエブナト云漢名掛尾魚圖書又五寸以上ノ処ヲイナト云漢名鮛魚圖書スバシリト云モ鮛魚ノ中ニ一尺以上ノ者ヲボラト云漢名鯔魚ニ名吉伊勢鯉口女等ノ名モ大クナリシヲ云〇子ハシクチボラト云物ニアリ此子ヲ塩藏シ乾シタルヲカラスミト云サワラノ子ニテ造ルカラスミハ辛ミアリ此ハ甘ミアリ薄ク切リ透明リ珊珀ノ如シ讃岐地方ヨリ出ルカラスミハサハラノ子ナリ

十三ニ

大和本草錄

イセコヒ

志くち 大河ふ産す 又江海ふ出たりすなちとゝび 京ふて
伊勢ごひとゝふ鯉ふ似又川鰡ふ似たりやすふともゝふ唐山の
俗鰱魚といへり又朱口とゝふ口紅とゝふあり如し

東洲京四郎

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

簣走 一名口女(クチメ) 一名江鄭 一名乙那(イナ)一名名吉(ナヨシ) 一名伊勢鯉

一名暮羅 一名腹太(ハラブト)蛇頭魚 餘姚縣志

日向國揉カ原ノ入海ニ此口女多シ口ノ内朱ノ如シ土人相傳

名忘レタリ

○○尊ノ釣針フクミシ魚ト云揉カ原一件神代卷ニアリ

シクチ シクチボラト云テ河海所ニアリシクチハ目口

赤ク暖ニ真子アリ此カラスミナリ外ノボラハ真子ナシ

肥前野母ノカラスミヲ上品トス茶人賞之サワラノカ

ラスミハ下品シクチボラ漢名赤目烏之閩書ニ出ヅ

烏魚ト云ヘバ常ノボラ

シクチ 鯽魚俗称鯽俗字音連 享保復言 全

鱞子　カラスミ

鹿児嶋縣下薩摩國川辺郡秋月村
宮内喜太郎

此製造ハ鰡ヲ捕獲スルヤ該魚ノ腹中ヨリ挍子取リ三週間程食塩ニ漬ケ置キ夫ヨリ該塩気ヲ拔去リシカ為メ水ニ十二時間位漬シ而シテ塩気ノ加減ヲ試ミ然ルヘキニ於テハ板ノ上ニ雙ヘ一日干シ其夜ニ乾シ其夜ニ至リ再ヒ右ノ如ク押ヲ掛ケ又清水ニテ洗ヒ日ニ乾スヿ二週間位ニシテ又水ニテ能ク洗ヒ乃一日乾シ製法スル此ノ如ク其保存方ハ茱萸子油ヲ一時間位煮テ外面ニ能ク塗リ箱入所ケ風ノ通セサル様密封スヘシ

製法沿革

此製法ハ祖父宮内喜太郎ヨリ傳來ニ係ル

製造器械

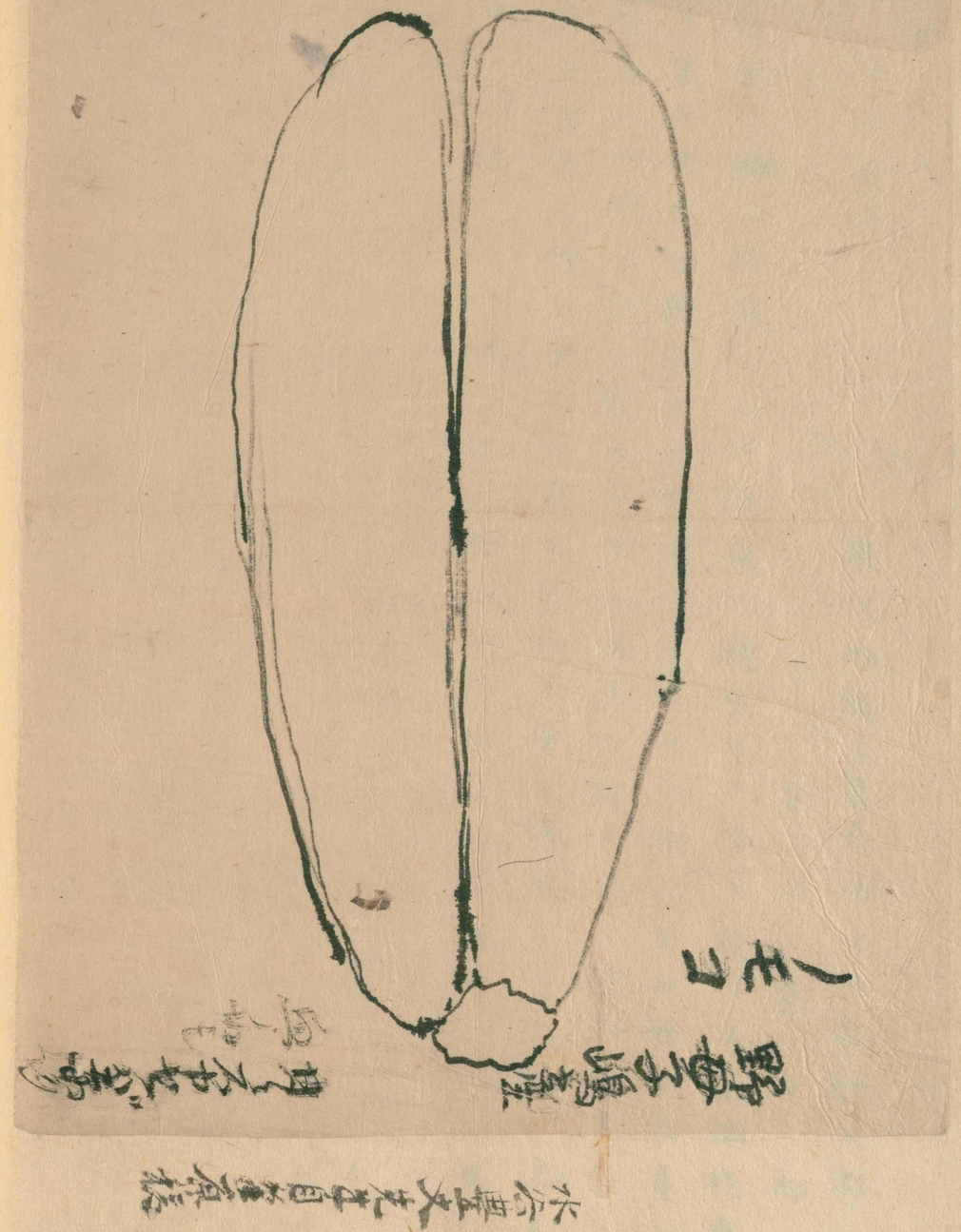
小庖丁　枚
刮用

食用ニ供シ且ツ酒ノ酔ヒ及婦人産後ノ腹痛等ニ用ヒテ最モ効アリ

水産略説　根室縣勧業課全

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用

唐墨

鮹ノ三尺以上ノモノヽ卵ナリ元親記ニ年々二月豊大閤ニ献セリト云右製造ハ安芸郡甲浦村幡多郡清水村ノ産ヲ善シトス

因云鮹ノ子ヲ「イキナゴ」ト云塩カラニ製ス又「銀ビシヨ」トモ云而ノ二三尺ナルヲ鮒ト云又長サ七八寸ヨリ上ヲ二支ト云ヒ一尺五六寸ヨリヲ三才ト云フ

カラスミ

鰡　ボラ　廣大和本草曰銀鹽和名ギンヒシコ大坂ニ多ク賣買ス土佐ヨリ出銀魚ヲヒシコニ作ル廣西通志曰銀魚ノ鰥魚幼少ナル者矣按ニ此説不當

鰡の子をイキナ鮞とゴト云フ塩カラを製ス銀びしこといふ二三寸ありと

鮞といふ長サ七八寸より上を二歳と云　長サ五寸

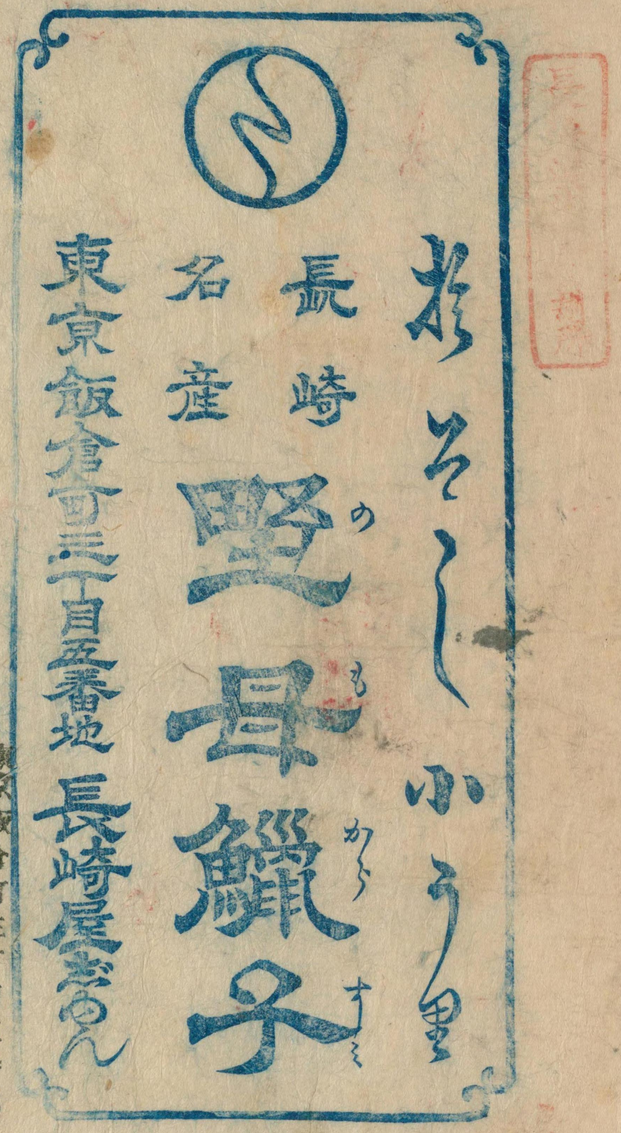
より三歳といふ　南部志

の唐墨三尺以上の鰡の子也　故上ヨリ製ス　申浦

清水浦く名和

鰡子　カラスミ

青魚子　肥前国彼杵郡雷母村　日本地誌提要七



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11
ガラス使用

メナダ（青魚）

形稍長　鰡魚ニ似リ四

三ノ千　三ノ千ノ字メ等諸国方言

日ノ丸ヨコスリ去　天餘魚

大和本草ニヤスシト云芝浦

二ノ千　カトウヲヒ

鰤　臘子　又スリヨギ去叫魚

カラスミ　鯔夢

海日　鯔ノ子ヲ取テ製ス

臘子即鯔魚脯碕陽出蔵之刃若沃油香美無倫土州出亞之

糖藏可至夏月讃出乃馬鮫鰤鬆而脂少不免優孟

カラスミ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11
ガラス使用

永世保存
錦窠物産庫
禁出門外

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用

寄別 11
11
(28)

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用